

新潟県福祉サービス第三者評価結果公表基準

① 第三者評価機関名

社団法人新潟県社会福祉士会

② 事業者情報

名称： 社会福祉法人佐渡福祉会 知的障害者更生施設 岩の平園	種別： 知的障害者更生施設
代表者氏名： 園長 佐山 三憲	定員： 50名
所在地：〒952-0108 新潟県佐渡市上新穂1256番地	
連絡先電話番号： 0259-22-3880	FAX番号： 0259-22-3881
ホームページアドレス	http://www3.ocn.ne.jp/~sadoiwa/index.html

③ 総評

◆ 特に評価の高い点

岩の平園の入所者は、日常生活の中で必要な掃除等は能力に応じて、役割分担や協力して行っており、地元の木材や竹を利用した木工や裂織り、農作業等、地域の特性を取り入れた多彩なメニューの作業も行っている。実際に作業している利用者の生き生きとした様子や、利用者の聞き取り調査の結果から、佐渡島内で最初に開所した知的障害者の入所施設として、入所者の生活の向上に長年取り組んで来たことが伺える。岩の平園で暮らし続けたいとの入所者や家族の希望に応え、施設構造や設備に制約がある中で、入所者の高齢化や重度化の対応に努め、看取りの支援も行っている。

また、当法人は入所施設の運営だけでなく、社会情勢や地域のニーズに対応して、通所施設やグループホーム、支援センターも開設しており、その中で岩の平園は、佐渡島内の地域運営協議会のリーダー的な役割を担ったり、短期入所サービスも実施するなど在宅の障害者の支援も積極的に行っている。

法人全体で、サービスの質の向上を目指しており、独自の自己評価票『施設サービスマニュアル・チェックリスト』を用いて、定期的に職員が自己評価を実施したり、福祉見識のある地元住民による外部評価や、家族アンケートも実施している。その中でも、人権擁護を大切にしており、法人に『人権擁護委員会』を設け、人権擁護に関する研修の企画・実施を行っているほか、自己評価や家族アンケートの実施も『人権擁護委員会』が各事業所と連携して実施している。

◆ 改善を求められる点

個別支援計画を中心としたケアマネジメントの仕組みを整えている段階であり、個別支援計画に基づいた支援は一部の利用者に留まっている。利用者の自立やエンパワメントに向けての支援はもとより、高齢者や重度化に対応するには、適切なアセスメント、具体的な計画、計画の実施、評価・見直しの一連の仕組みは重要である。早急に、ケアマネジメントの仕組みの確立を期待する。また、ケアマネジメントには、職員の協働が大切であり、今まで構築してきた職員の知識や技術、最も傍にいる支援者としての視点を十分に活かすためにも、ケアマネジメントに関する研修の実施や職員が協働できる仕組みづくりが望まれる。

法人全体として設置している『人権擁護委員会』と連携して、利用者の権利擁護、サービスの質の向上に向けた様々な取組みを行っているが、それらの取組みの結果をもとにした課題の分析や、改善計画の策定やその評価が、幹部職員中心で行われる傾向が見受けられる。また、中・長期計画が策定されていないこともあり、単年度の事業計画も、具体的な計画と実践、その分析と評価といったPDCAサイクルを基に、連続性も持ってサービスを向上していく仕組みには至っていない。社会情勢や制度の変化が多い中、中・長期計画を策定するのは難しい面があると思うが、その変化に左右されないためにも、サービス向上に向けた、連続性を持った計画を策定し、その一連の過程に多くの職員が参加できる仕組みづくりを期待する。

④ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

(H 22. 4. 26)

評価機関の方々には何度も佐渡へお越しいただき、有り難うございました。

評価結果につきましては、概ね予想していた内容になったと考えます。

高評価いただいた点につきましては、維持できるよう継続して取り組んでまいります。改善を求められた点につきましては、大別すると以下の3点になるようです。

(1) ケアマネジメントの仕組みを確立すること

個別支援計画の作成過程等については21年度から施設内で見直し作業を行っているところです。22年度には確立できるはずですが、有効に機能するために継続的な検証を行います。

(2) 中・長期計画を策定すること

「国の施策が変転するなかで、中・長期計画の策定は困難」という議論が法人内部でありましたが、ご指摘のとおり「その変化に左右されないためにも必要」であろうと考えます。法人内に中期計画検討委員会を立ち上げ、協議を開始しました。10年後の姿を描くことは至難ですから、向こう5年くらいの中期計画を今年度中に策定します。

(3) 様々な取り組みの策定・検証が幹部職員中心に行われている

利用者の高齢化、重度化で現場の職員は日々の支援業務に追われているのが現状ですが、キャリアパスの導入と併せて職員研修の充実を図り、若い職員の声を施策に反映できるような仕組みを作ります。

(岩の平園 園長 佐山 三憲)

⑤ 評価細目の第三者評価結果 (別添：公表様式2のとおり)